

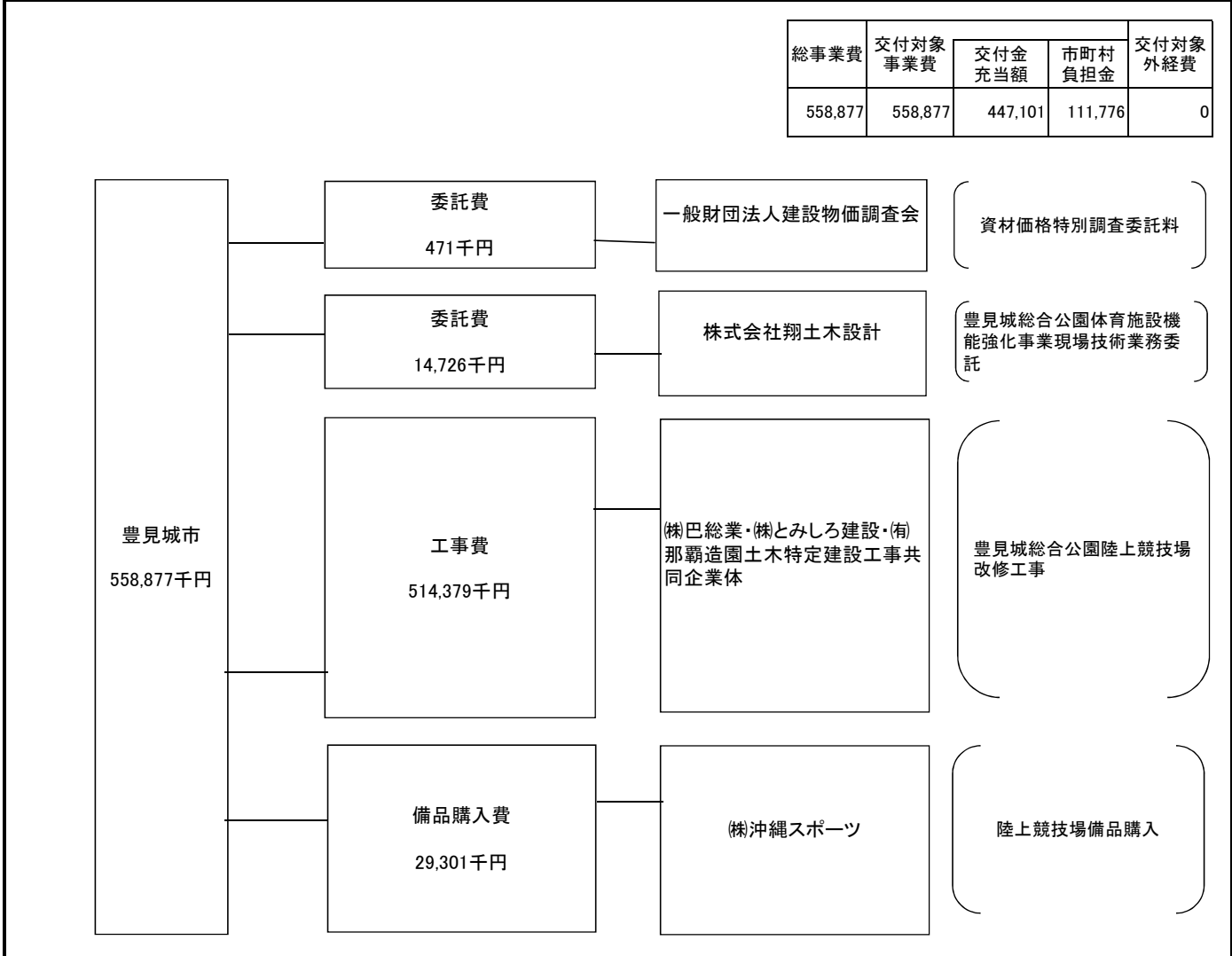
市町村名		豊見城市					
平成30年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-① 豊見城総合公園体育施設機能強化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第3章-2-(1)-イ		
担当部署名	教育部 生涯学習振興課	事業実施(予定)年度	平成27~30年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「スポーツアイランド沖縄」の形成 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	オリンピック・パラリンピック等のスポーツコンベンション誘致を推進するため、施設の現状と課題を抽出し、誘致に必要な条件、計画的な整備を推進するための検討を進め、市民のスポーツ振興及び競技力向上と観光客等の増加により地域活性化を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			H28年度	H29年度	H30年度	H30年度(繰越)	R1年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	13,878	11,654	540,074	0	
		(b) 予算現額	12,572	11,654	559,393	0	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,306	0	19,319	0	
		(d) 繰越額	—	0	0	29,301	
	A. 計(b+d)		12,572	11,654	559,393	29,301	
	B. 執行済額		12,571	11,654	529,576	29,301	
	うち交付金充当額		10,056	9,322	423,660	23,441	
	次年度繰越額		0	0	29,301		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	94.7%	100.0%	
予算の状況の説明		H28年度基本計画策定・H29年度実施設計・H30年度に現場技術及び工事を実施した。陸上競技場備品購入においては、生産ラインの逼迫により納入が遅れたため29,301千円繰越を行った。					
活動目標(指標)及び達成状況	H30活動目標(指標)		達成状況				
			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	豊見城総合公園体育施設機能強化計画に基づく現場技術委託、土木工事の実施、備品整備	目標	(基本計画の検討)	(総合公園陸上競技場グラウンド機能強化設計業務の実施)	(総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事業務の実施・備品整備)		
		実績	基本計画のとりまとめ完了	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化設計業務の完了	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事完了・備品整備の完了		
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明		H28年度基本計画策定・H29年度実施設計・H30年度に現場技術及び工事を実施した。陸上競技場備品購入においては、生産ラインの逼迫により納入が遅れたため、23,854千円繰越を行った。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H30成果目標(指標)		基準値(年度)	H28年度	H29年度	H30年度	目標値(R2年度)
	総合公園陸上競技場グラウンド機能強化工事完了及び備品整備	目標	()	(基本計画策定)	(実施設計)	(工事実施)	()
		実績		策定完了	実施設計完了	工事完了	
	【参考指標】令和2年度目標合宿誘致件数利用者数	目標	()	()	()	()	5件(30,000人)
		実績					
進捗状況説明		H28年度基本計画策定・H29年度実施設計・H30年度に現場技術及び工事を実施し、陸上競技場の全天候舗装の整備を実施できた。陸上競技場備品購入においては、生産ラインの逼迫により納入が遅れたため、23,854千円繰越を行った。令和元年5月に納品完了した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>スポーツコンベンションを推進するためには以下の課題が挙げられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合公園陸上競技場のトラック・インフィールドの全天候舗装については整備完了することができ、県外・国外のアスリート合宿の受入施設環境は一部実現できたが、より受入を推進するため未整備施設の整備が急務である。 ・スポーツ合宿のために来沖するアスリートの声を施設整備に反映することで、定期的なスポーツ合宿受入に繋げていくことが必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・H28年度に策定した基本計画を推進すべく、スポーツコンベンション推進のための障害者トップアスリートの合宿に対応した多目的トイレ・更衣室・会議室・トレーニング室といったメインスタンドの整備及び駐車場の整備が必要である。 ・本市にスポーツ合宿に来沖したアスリートにアンケートを実施し、施設整備、備品整備に反映させていく。

今後の取り組み方針

・総合公園陸上競技場のトラック・インフィールドの全天候舗装については整備完了することができ、県外・国外のアスリート合宿の受入施設環境は一部実現できたが、より受入を推進するため未整備施設の整備が急務であり、スポーツ合宿のため来沖したアスリートの声を引き続き施設整備に反映させ取り組んでいく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託及び工事、備品購入業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、資材価格調査や、積算基準に基づいた適正な予算規模であった。平成30年度の繰越額があったが、令和元年度早期に執行することができ、適正な規模であったと考えている。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途について事業目的達成の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	